第１回中央闘争委員会確認／2014.12.24

# 2015 春季生活闘争
# 第１回中央闘争委員会　確認事項

連合は本日、2015 春季生活闘争の第１回中央闘争委員会を開催し、今後の闘争の進め方について協議し、次の確認を行った。

## Ⅰ．最近の特徴的な動き

１．至近の経済情勢について

政府が 12 月８日発表した 2014 年７－９月期の四半期別ＧＤＰ速報（２次速報値）によれば、実質ＧＤＰ成長率が前期比▲0.5％、年率換算で▲1.9％と２四半期連続のマイナスとなった。また、ドル・円相場は 12 月初めには一時１ドル 121 円台を記録するなど急激な円安から、輸入価格高騰も懸念される一方で、原油価格の下落もある。政府・日銀の景況感は「回復基調」との判断を変えていない。

２．第 47 回衆議院選挙結果について

第 47 回衆議院選挙に対し、連合・構成組織・地方連合会は全力を挙げて推薦候補者の当選と民主党の躍進をめざし闘った。結果は、民主党は選挙前の議席から 11 議席増やし、73 議席を得たが、与党の議席を減らすまでには至らなかった。

連合は、広く国民の共感を得られる社会運動を展開するとともに、来春の統一地方選挙の勝利に向けた取り組みを強化していく。

３．政労使会議の取りまとめについて

再開された政労使会議は、「経済の好循環の継続に向けた政労使の取組について」を取りまとめた。同会議では、昨年取りまとめた４つの課題について、政労使が継続して取り組むことを確認したほか、本年は、ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けて長時間労働を是正する意識改革を進めていくことや、非正規雇用労働者について意欲と能力に応じた処遇改善や正規化をはかるべき時を迎えているとの認識を深めることができたことは評価できる。一方で、生計費カーブの前提となっている子育てや教育費などのあり方や、めざすべき社会像とそのための政策体系などについては、限られた時間の中で十分な議論ができたとは言い難い。連合は、デフレ脱却のカギは中小企業で働く労働者や非正規労働者の「底上げ・底支え」「格差是正」にあるとの認識のもと、１年限りの取り組みに終止することなく、経済の好循環の流れを拡大すべきだと主張してきた。加えて、新たな課題として、国民所得が物価上昇に追いついていないことや長時間労働の是正を最優先とした働き方の見直しなどの問題提起を行ってきた。

## Ⅱ．当面の闘い方

１．構成組織における 2015 闘争体制の確立に向けて

構成組織は、連合が掲げた闘争方針、すなわち、経済の好循環実現をはかるべく、「賃上げ」「時短」「政策・制度実現の取り組み」を柱として、すべての働く者の底上げ・底支えと格差是正をはかる内容に沿って、闘争方針と闘争体制の確立をはかる。

２．共闘連絡会議の開催

部門別共闘連絡会議は2015年１月を目処に第１回書記長・事務局長会議を開催する。参加構成組織の要求内容を把握し、賃上げの波及力を高め闘争の足並みを揃えるために、情報交換および情報開示を進めていく。「中核組合」「先行組合」「中堅・中小組合」の確認を早期（１月中）に行い、「中核組合の賃金カーブ維持分・賃金水準」および「代表銘柄・中堅銘柄」の早期開示をはかる。また２月を目途に、第２回書記長・事務局長会議を開催し、情勢や要求内容など情報の共有をはかる。

３．「底上げ・底支え」「格差是正」の取り組み

2015 春季生活闘争において実現をめざす重要な目標である様々な格差（企業規模間、正規・非正規間・男女間など）の是正をめざし実効性ある取り組みを行うための準備を進めていく。構成組織においては、最低到達水準を確保する点検を行う。地方連合会は、地域ミニマム運動で得られたデータにもとづく賃金の特性値を開示し、地場の賃金相場の社会的波及を進める。

４．職場点検活動の実施

各組合は職場点検活動を行い、法律・労働協約の遵守や安全問題への対応を徹底させ、公正なワークルールの確立をめざす。また、2015 春季生活闘争方針を踏まえ、長時間労働の撲滅に向け年次有給休暇の取得促進や支部単位での労使コミュニケーションの強化などに取り組むこととする。

５．地域活性化に向けたフォーラムの開催

地方連合会は、地域ミニマム運動にもとづく地域の賃金水準について広く開示し、地域における賃金相場観の醸成に努めるとともに、地域活性化に向けたフォーラムの実施に向けた諸調整を促進する。

６．組織拡大の取り組み

構成組織は春季生活闘争の中で、パート・有期契約労働者など企業内未組織労働者の組織化と子会社・関連会社などでの集団的労使関係の構築に取り組む。

また、地方連合会においては、集団的労使関係の必要性について、社会的にアピールする行動を展開していく。

## Ⅲ．当面の日程

１．機関会議

| | | |
|---|---|---|
| 2014年 | 12月 24日 | 第１回中央闘争委員会（第15回中央執行委員会後） |
| 2015年 | 1月中 | 各共闘連絡会議第１回書記長・事務局長会議 |
| | 1月 20日 | 第２回戦術委員会（第23回三役会後） |
| | 1月 22日 | 第２回中央闘争委員会（第16回中央執行委員会後） |
| | 2月中・下旬 | 各共闘連絡会議第２回書記長・事務局長会議 |

2. 諸行動

| | | |
|---|---|---|
| 2015年 | 1月　7日 | 「2015連合白書」学習会 |
| | 1月下旬 | 連合・経団連定期協議 |
| | 2月　5日 | 2015春季生活闘争　闘争開始宣言2･5中央総決起集会 |
| | 2月 12～14日 | 「パート・派遣・契約社員の労働相談駆け込みダイヤル」（仮）（電話相談） |

以　上